

高松高校生が アンネのバラ を通じた 地元小・中学生と の平和交流会を行います

令和8年1月15日（木）
香川県立高松高等学校
担当：三崎（当日の取材、
内容に関すること）
電話：087-831-7251

（今回の活動） Kagawa Peace Forum in 高高 2025冬

～輪から円に、縁から和にプロジェクト～

2023年3月に広島県福山市の「ホロコースト記念館」よりアンネのバラを譲り受けたことを機に、「人道プログラム（下記参照）」の一環として、地元の小・中学生を対象として、本校生からアンネのバラの紹介と接ぎ木体験、杉原夫妻の功績を互いに学びながら平和について考え、同時に校種を超えた交流をします。一昨年8月、昨年2月に続く、3回目の活動になります。

1 日 程：令和8年2月8日（日）9:00～11:00

8:30 受付
9:00 第1部開始（アンネのバラの説明と接ぎ木体験）
10:20 第1部終了→休憩
10:30 第2部開始（杉原夫妻の功績について、杉原幸子氏寄贈の書籍）
11:00 終了

2 場 所：香川県立高松高等学校 グラウンド他

3 参加予定者：高松高校生（16名）、近隣小・中学校児童生徒希望者（30名）

4 その他：
◎ 2/7(土)、本校生6名がホロコースト記念館を訪問して接ぎ木を学び、福山市的小・中学生との交流をします。
◎ 3/3(火)午後から本校にて、ホロコースト記念館理事長との交流を行い、その後、高松市立亀阜小学校にて、アンネのバラ贈呈並びに植樹式をします。
(平和の輪を広げる試み)

高松高校の「人道プログラム」

本校では、一般財団法人三菱みらい育成財団による「心のエンジンを駆動させるプログラム」等の助成を受け、「杉原千畝・幸子氏から広がる人道の輪～高校生同士の交流が世界へと繋がる」のテーマのもと、イスラエルやリトアニア大使館表敬訪問や愛知県知事、神戸・沼津市長表敬訪問、岐阜の杉原千畝記念館等を実際に訪れて学びを広げる国内研修などを行いました。また令和6年度にポーランド、リトアニアを訪問する海外研修、令和7年度に大阪・関西万博でのプレゼンテーションを行い、「人道」「国際平和」「民族融和」について考えてきました。

第二次世界大戦中、自分の命の危険を顧みず、リトアニアの地でユダヤ難民に対して「命のビザ」を発行した杉原千畝外交官の妻幸子（ゆきこ）氏は本校の卒業生であり、ビザ発行の勇気ある行動の影には妻幸子氏の献身的な支えがあったと言われています。

このご縁を捉えるとともに、ウクライナやイスラエルで戦争が行われている今、高校生が平和な国際社会の創出に向けて意見交換し、多くの学びを共有し、またその輪を広げ日本国内から世界へと繋げていきたいと考えて活動を行っています。現在は県内での普及活動に力を入れ、「アンネのバラ」を通した地元の小・中学生との交流を大切にしています。